

ハネコ踊り 保存会

結成：令和5年8月
『ハネコ踊り』の普及・伝承・研究・保存を目的に結成しました。前身は『ハネコ・はねこ』（平成25年4月結成）で、ハネコ踊りの普及と伝承を行い、一祭連として活動をしていましたが、これからは研究・保存活動も積極的に行っていこうと『ハネコ踊り保存会』と名称を改め再出発致しました。次の世代に『ハネコ踊り』を伝えられるようこれまで以上に精進して

参ります。『ハネコ踊り』は八幡町（現在の石切町）で黒田虎雄さんが代々石工をされながら継承してきた踊りです。生前、虎雄さんから「ハネコは俺の代で終わる。もう一度八幡町で踊りてなあ」という切実な思いをお聞きしたのが活動のきっかけです。虎雄さんの思いを胸に「石工さんたちのハネコ踊りを必ず復活させます！」と約束し『ハネコ踊り』を伝授していただきました。踊り・お囃子とも手を加えず『出来る限り昔のまま』に拘って活動しています。



色は紺と白のみのシンプルカラーです。
紺：法被・腹掛・股引・地下足袋
白：鉢巻・鯉口シャツ・帯
『ハネコ踊り』は昔の石工の踊りなので石工の服装を再現しています。
紺と白のシンプルながら法被の背中のデザインは伊達家十八代御当主・伊達泰宗氏です。帯やのぼりの模様は許可をいただき伊達家の家紋である『竹に雀』です。衣装も『出来る限り昔のまま』なのです。



扇子も他のものと同じく『出来る限り昔のまま』で虎雄さんや昔の様子を知っている方にきき、そのままの『白地に日の丸』を使っています。

これからの活動としては、青葉まつりはもちろん、大崎八幡宮奉納演舞、どんとロード八幡雀踊り等『ハネコ踊り』の地元のお祭りへの参加をはじめ、地域の小・中学校への指導や『ハネコ踊り』を踊った石工達の故郷である大阪・堺の方との交流も続けて行きたいと思えます。

『すずめ踊り』の礎である『ハネコ踊り』。踊りやお囃子は同じところもあり、違うところもあり。そういったところを楽しんでいただけると幸いです。『ハネコ・はねこ』はこれからも『ハネコ踊り』を伝承していくと共に、皆様に愛される祭連となるよう精進していきたいと思えます。宜しくお願い致します。

